

## (株)浅井農園と連携大学院を設置

—企業との連携による実践的な教育研究の場の創設を目指して—

- 地域発のイノベーションや価値創造の担い手となり得る人材を育成する研究科
- 地域社会の抱える課題解決法を主体的に考え、行動し得る人材を育成する場が必要
- 教育研究成果を社会実装し、地域共創、新しい地域づくりに貢献
- 地域になくてはならない地方国立大学の新しい姿

### 【概要】

三重大学と(株)浅井農園が相互に連携・協力することにより、本学大学院地域イノベーション学研究科の一層の充実と当該研究科の学生の資質の向上を図り、分離融合型の研究交流を促進し、もって地域企業や自治体等が抱えている課題の解決に必要とされる学際研究を行い、成果を社会に寄与することを目指す。

### 【研究内容】

(株)浅井農園から代表取締役社長・浅井雄一郎氏ほか2名を連携教員として採用し、農業現場のイノベーションに取り組む同社のもつ高度な研究環境において、品種から栽培管理技術、ロボティクスやエネルギーまで、多岐に渡る研究課題に取り組む。

### 【今後の展望】

研究科におけるプロジェクト・マネジメント授業や実務教育をより一層充実させるとともに、企業の技術力強化に貢献し、教育研究を通じた企業との連携強化を目指す。

### 【用語解説】

連携大学院方式：連携する研究機関がもつ高度な研究水準（施設・設備・人的資源）を活用して大学院教育を行うもの。連携機関から研究者が連携大学院の教育研究に参加するとともに、当該機関においても学生を受け入れ、学生に対する研究指導を行うことができる。



### <本件に関するお問合せ>

三重大学地域イノベーション学研究科

TEL: 059-231-9503

E-mail: [innov-jimu@ab.mie-u.ac.jp](mailto:innov-jimu@ab.mie-u.ac.jp)

# 地域イノベーション学研究科が目指すこと

## 地域イノベーション学とは

大学の研究成果と知識を活用しながら、社会との連携によって地域を活性化させるための方法論を見出す学問。

## 研究科の教育目標

地域社会との連携を通じた人材教育を行うことにより「自ら問題解決（プロジェクト・マネジメント）ができる研究開発系人材」「地域にゼロからイチを生み出せるソーシャル・アントレプレナー人材」を養成して、地域社会に輩出する。

社会に興味を持ち、課題を発見し、モノ・コト・ヒトの新たな結合によって問題解決できる人材を育て、地域に送り出す

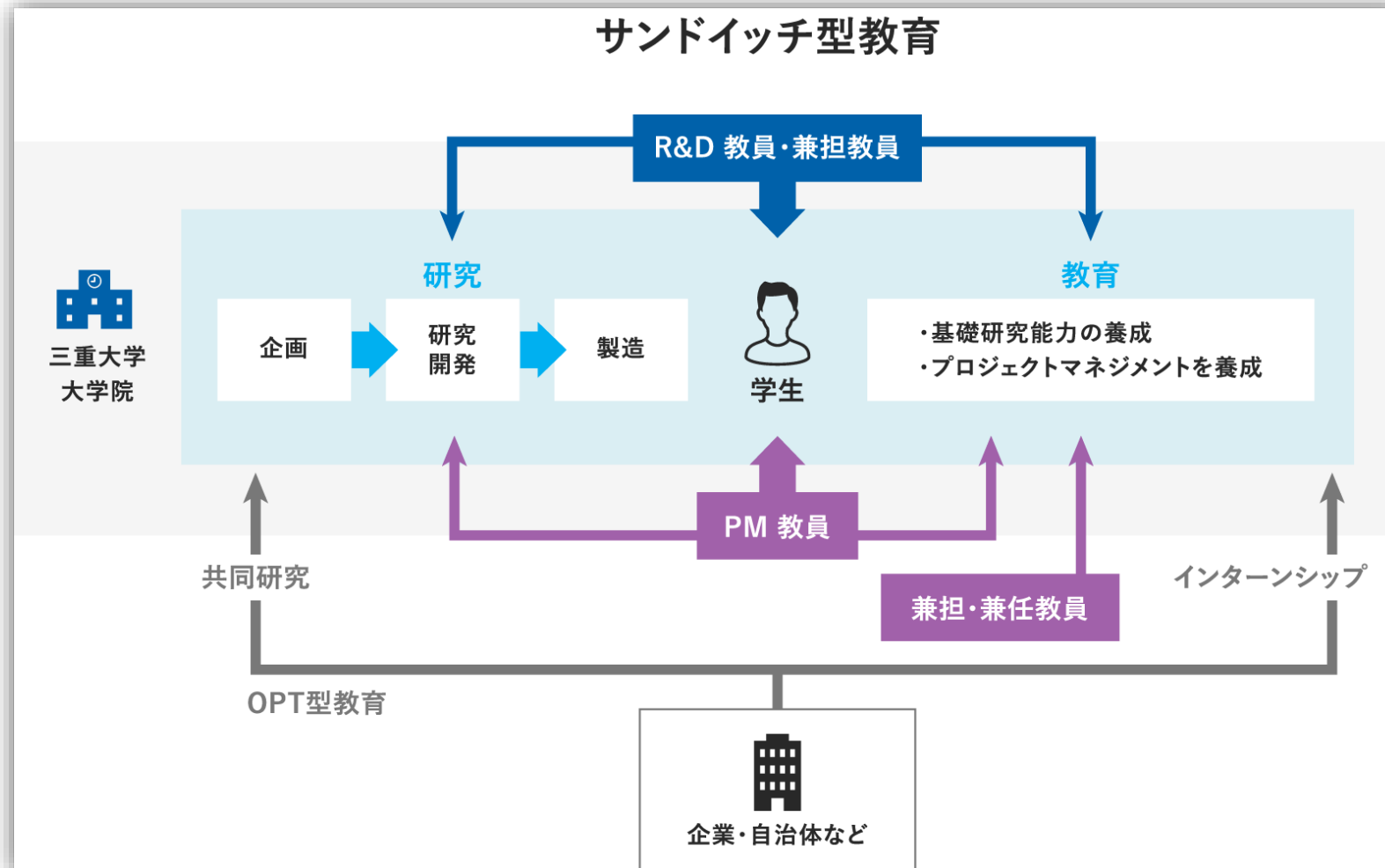
# 本研究科が養成を目指している人材像

以下の3つの能力を兼ね備えた人材

- (1) 専門分野を中心とした幅広い知識に基づく  
**高度な研究開発能力**
- (2) 専門分野を中心とした幅広い知識を活用して、  
**問題解決を遂行する能力**
- (3) グローバル化に対応しうる  
**国際感覚**

これら3つの能力を兼ね備えた人材を育成し、  
地域に輩出したい。

# サンドイッチ方式教育による人材育成



地域に表出する多種多様な課題の解決を通して、  
社会の進歩に寄与する

基礎研究の追求が開く  
新たな応用展開



現場の課題・ニーズを紐解き  
解決する応用研究

連動する文理融合・分野横断型の  
学際的往還・融合研究体制



公的研究機関や  
地域企業との連携大学院



地域社会のリアルな現場

本研究科が持つ様々な視点



工学

バイオ

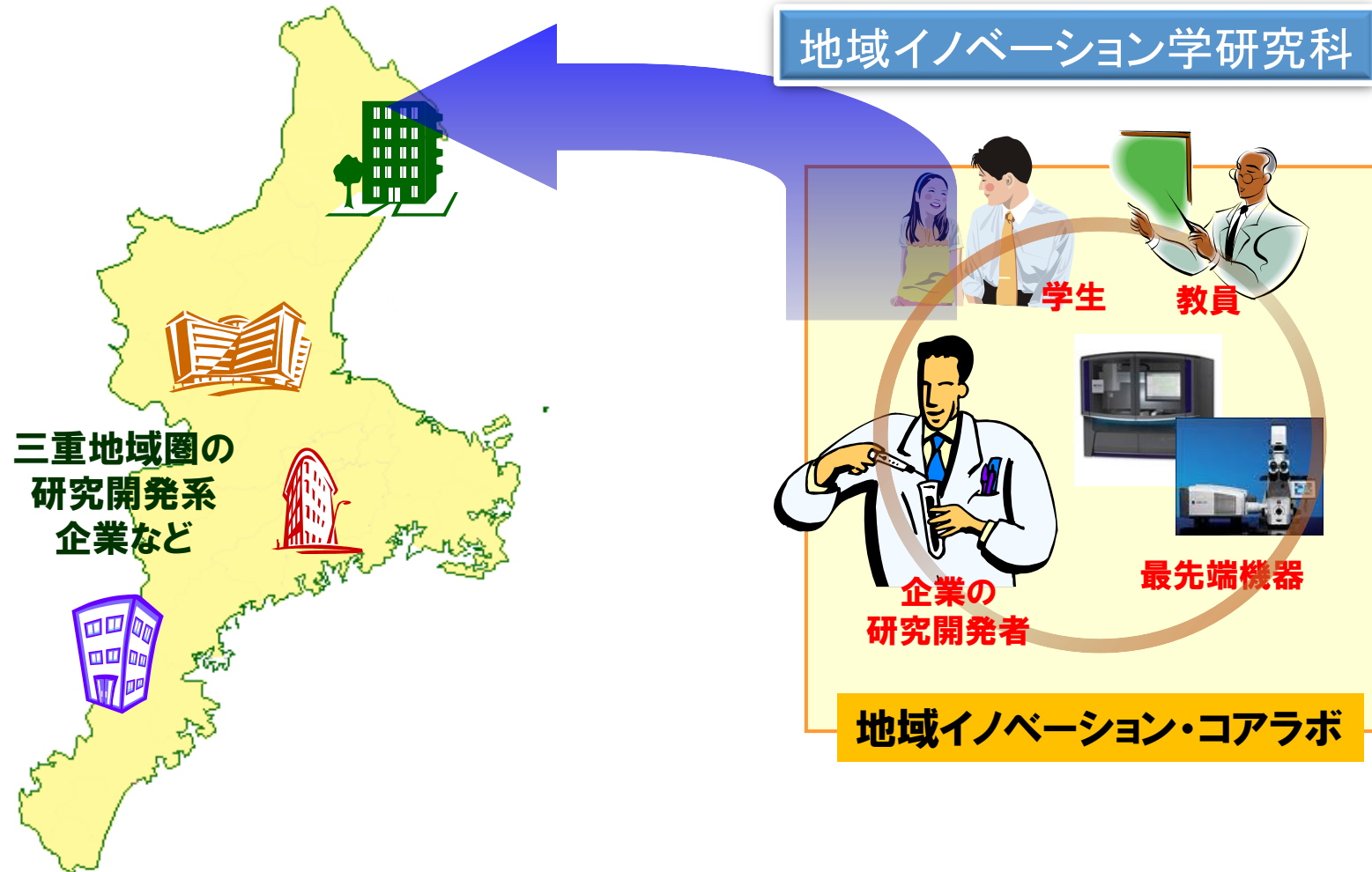
人文社会科学

三重大学が掲げる「世界と伍する研究」・「地域に根差したオンリーワン研究」  
「社会課題の解決につながる応用研究」の3つの研究目標

総合知  
＋  
専門知  
＋  
マネジメント力

# OPT教育による「産学連携」を通じた人材の育成

学生を三重地域圏の企業、自治体、研究機関等との共同研究に参画させ、実践的な研究開発能力とプロジェクト・マネジメント能力を修得させる(On the Project Training)。





# 産学連携大学院



三重大学大学院地域イノベーション学研究科  
Graduate School of Regional Innovation Studies, Mie University

株式会社浅井農園

三重大学  
地域イノベーション学研究科



令和7年4月1日スタート

連携教授 浅井雄一郎  
連携准教授 中島正登  
連携准教授 澁谷九輝

企業：技術力向上と社員教育、  
人材確保  
本学：学生の実践的な研究・  
教育の場を広げ、キャ  
リア教育を充実



本連携大学院の設置は、地域イノベーション学研究科にて博士号を取得し起業経験を持つ実務家教員により、教育研究指導の拡充・強化を図るものです。連携企業との協働による連携大学院の体制をとることにより、総合知をもつ実業家博士の育成を推進することができます。

- ・実践教育を経験できるOPT（On the Project Training）の場を確保
- ・実践的な課題に対する研究を通じた教育（ORT: On the Research Training）を展開
- ・将来的には、R&D・PMに加え、起業家マネジメントEM: Entrepreneur Managementとして、新たな教育研究体制の開設も期待

人と人が“つながる”イノベーション



# 株式会社浅井農園

代表取締役社長 浅井 雄一郎(Ph.D) ※2016.3地域イノベーション学研究科修了  
設立 1975 年1 月20 日(創業明治40 年(1907 年))  
所在地 本社:〒514-2221 三重県津市高野尾町4951 番地

## 生産拠点

研究農場:津市高野尾町 大里農場:三重県津市大里野田町  
棕本農場:津市芸濃町棕本 玉城農場:三重県度会郡玉城町原  
高野尾農場:津市高野尾町 宮古農場:沖縄県宮古島市上野  
北海道農場:北海道伊達市

## グループ会社

うれし野アグリ株式会社(松阪市) 株式会社アグリッド(いなべ市)  
株式会社PhytoX(津市) 株式会社ハッチ(津市)

## 事業内容

育種及び栽培技術等に関する研究開発事業  
野菜果実の生産及び流通開発事業  
緑化花木の生産及び造園緑化事業  
農業事業開発コンサルティング  
技術指導・運営支援コンサルティング  
農業事業再生支援コンサルティング

# 連携大学院イメージ

## 設置趣旨

- 企業との連携による実践的な教育研究の場を設ける
- プロジェクト・マネジメント授業や実務教育を充実させる
- 企業の技術力強化、教育研究を通じた企業との連携強化

- 地域発のイノベーションや価値創造の担い手となりうる人材の育成
- 日本社会や地域社会の抱える課題解決法を主体的に考え、行動しうる人材の育成
- 教育研究成果を社会実装し、地域共創、新しい地域づくりに貢献

起業経験を持つ実務教員により、教育研究指導の拡充・強化を図る

＜総合知をもつ実務家博士の育成＞

